

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

池島小	学校	児童数	19
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.31	18.92	36.46	36.08	34.92	9.78	134.38	20.38	47.92
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.00	19.83	41.33	31.67	27.17	10.62	124.00	13.00	48.83
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

はじめに、令和6年度の本校5年生児童の全国体力・運動能力、運動習慣等調査は男子13人、女子6人の計19人を調査したものである。したがって、統計的に資料不足であり、単純に大阪市平均・全国平均と比較することはできない。

体力合計点は、男子・女子ともに大阪市・全国平均を下回った。種目ごとに見ると、男子は長座体前屈以外、女子は握力、上体起こし、長座体前屈以外の種目で大阪市・全国平均を下回った（女子のソフトボール投げは大阪市平均を上回っている）。

児童への運動に関するアンケート調査において、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対し、男子は8人が「好き」、5人が「やや好き」と回答し、「やや嫌い・嫌い」と回答した児童はいなかった。女子は2人が「好き」、2人が「やや好き」、1人が「やや嫌い」、1人が「嫌い」と回答した。

1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子・女子ともに0人であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、前年度に引き続き、休み時間に児童が外で体を動かして遊ぶ時間を増やすために「大縄跳び月間」「短縄跳び月間」「かけ足月間」の3つの取り組みを行った。それぞれの活動で、学級や個人で目標を持ち積極的に取り組んだり、進んで練習をしたりする姿が見られ、普段運動が苦手な児童も意欲的に運動することができた。

また、教職員が積極的に児童と遊ぶことで、年度当初から多くの児童が外で遊ぶ姿が見られ、楽しんで体を動かす習慣が身についてきている。

体育の授業では、人数の少ない1・2年生、3・4年生では合体を行い、活動や場づくりの工夫に取り組んだ。また全学年で、毎年引き継いでいる授業づくりと場づくりの記録を参考にし、各学年が児童の実態に合わせた授業を実施した。

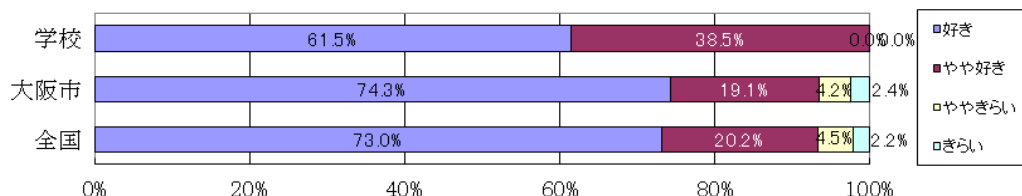
本校は年々児童数が減少しており、10人前後の学年も複数あり、大人数で取り組むような運動は実施しにくい。反面、運動場や体育館の割り当てで困ることはなく、広々とした場所で運動をすることができる。人数が少ないので運動用器具の数も十分足りている。上述したような効果的な取り組みを継続しながら、小規模校である特色を生かすことができるような体育活動に取り組んでいきたい。

運動やスポーツ、体育の授業について（男子）

本校の特徴的な結果

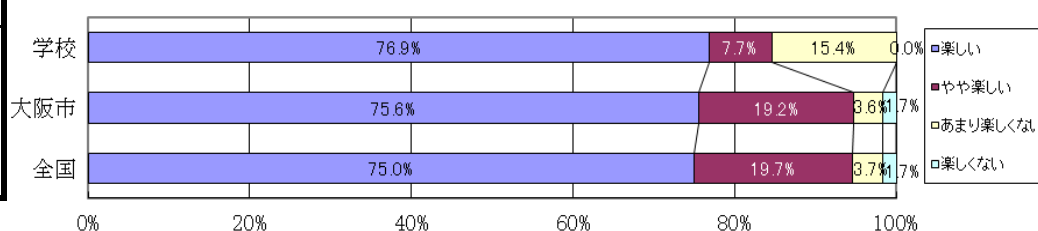
検証項目1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



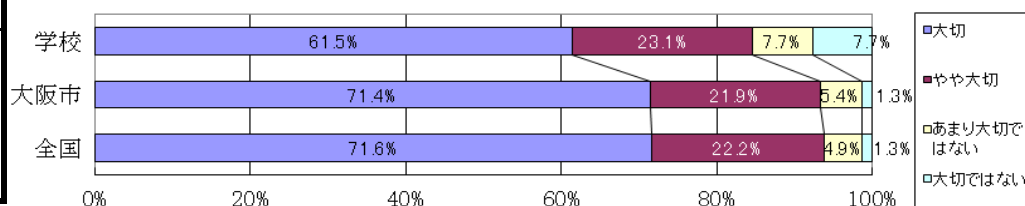
検証項目2

体育の授業は楽しいですか。



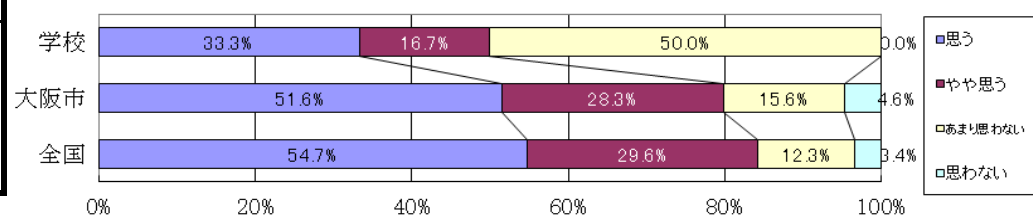
検証項目3

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



検証項目4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



考察

男子では、項目1について肯定的に答えた児童の割合は、大阪市・全国平均を上回っている。また項目2も「楽しい」と答えた児童の割合が多く、運動することが好きで、休み時間にも外に出て遊ぶ習慣が身についている児童が多いことが分かる。半面、項目3・項目4では、肯定的に答えた児童の割合は大阪市・全国平均を下回っている。普段の生活の中で、運動と健康の関連を、あまり意識しないで生活している児童がいることが分かる。

今後の取組

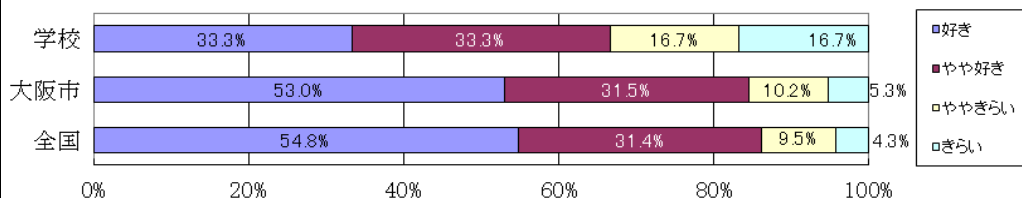
適度な運動は、心身の健康にとってとても重要である。中学校進学以降だけでなく、生涯にわたって運動に取り組むことができるように、運動の大切さを伝えていきたい。

運動やスポーツ、体育の授業について（女子）

本校の特徴的な結果

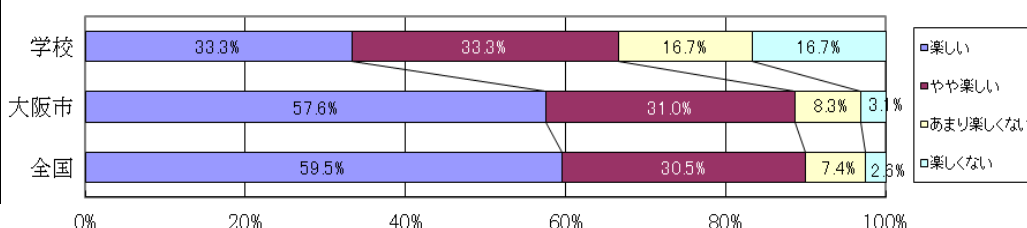
検証項目1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



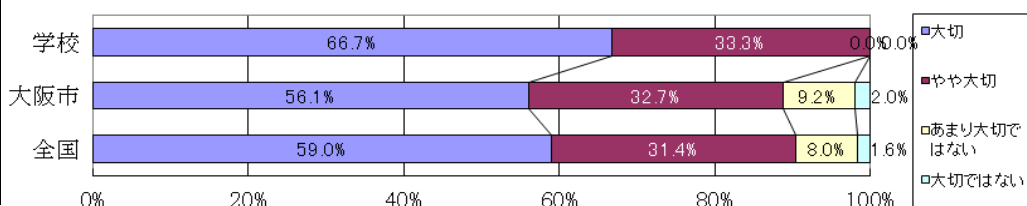
検証項目2

体育の授業は楽しいですか。



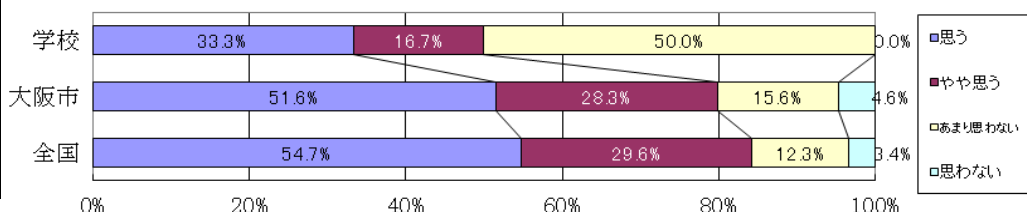
検証項目3

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



検証項目4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



考察

女子では肯定的に答えた児童の割合が、項目1・項目2では大阪市・全国平均を下回り、項目3では大阪市・全国平均を上回っており、男子とは反対の結果となった。また、項目4の肯定的な回答の割合はかなり低くなっている。これらのことから、運動の重要性は理解しているが、体を動かすことはあまり好きではない児童が多いことが分かる。

今後の取組

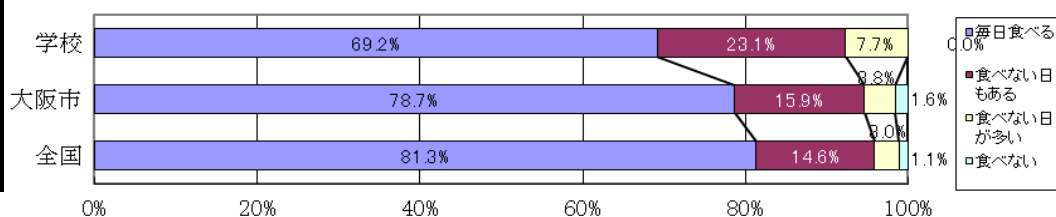
運動の大切さを理解している児童は多いので、実際に体を動かすことの楽しさを実感できるような活動を進めていきたい。

ふだんの生活について

本校の特徴的な結果

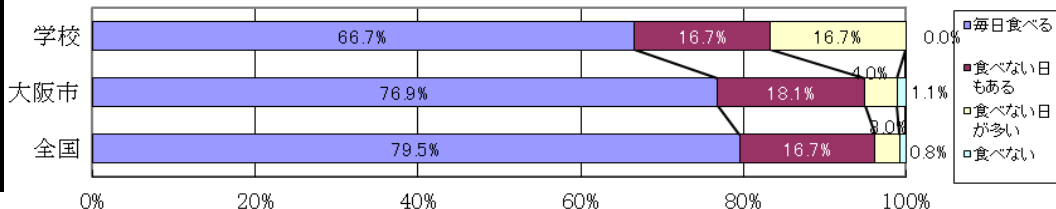
検証項目1:男子

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



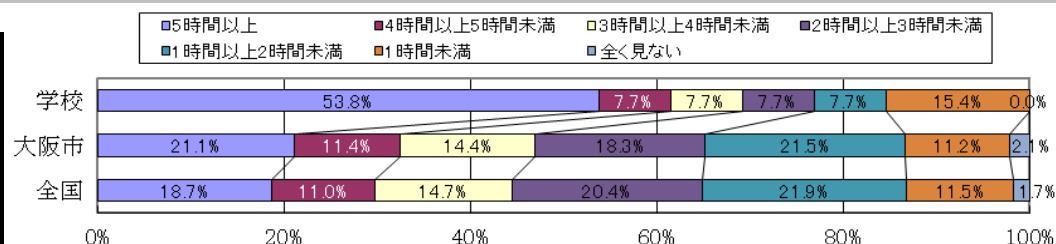
検証項目1:女子

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



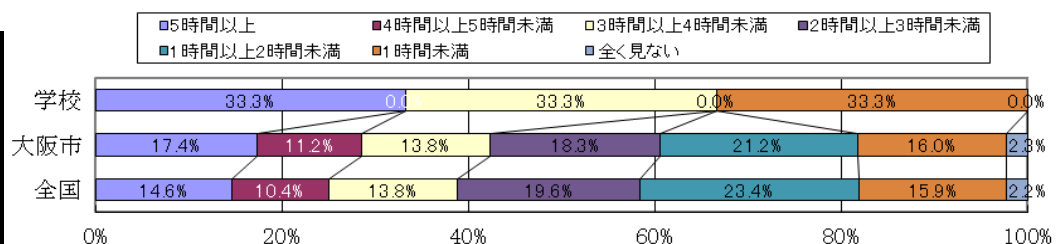
検証項目2:男子

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



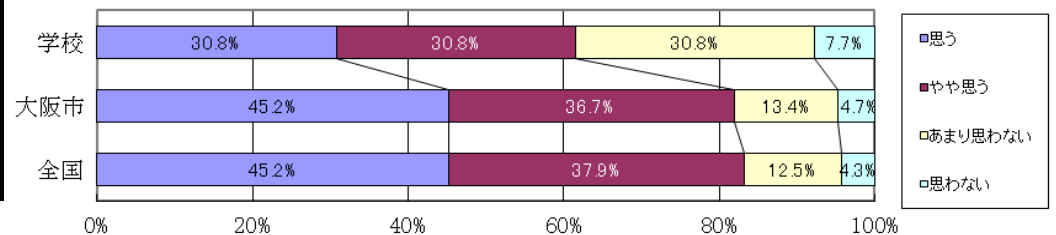
検証項目2:女子

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



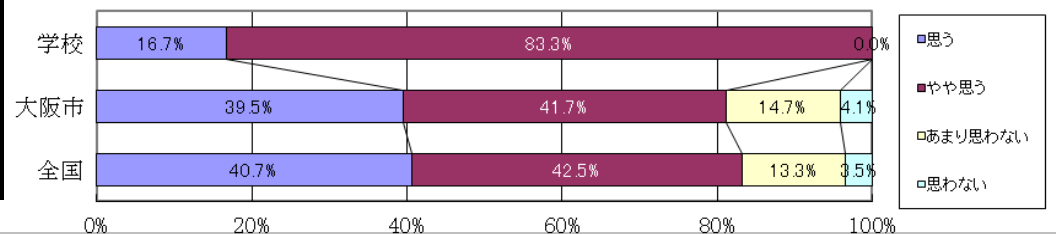
検証項目3:男子

保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんなに気がつけた生活を送れていると思いますか。



検証項目3:女子

保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんなに気がつけた生活を送れていると思いますか。



考察

項目1では、「毎日食べている」と答えた割合が、男女ともに大阪市・全国平均を下回っている。項目2では「5時間以上」と答えた割合が、大阪市・全国平均よりかなり大きく上回っている。項目3の結果からも分かるように、男女ともに生活習慣に課題がある児童が少なからずいる。

今後の取組

今年度、養護教諭と栄養教諭が「生活チェック」を実施し、結果が気になった児童に対して個別面談を行った。来年度以降も継続し、生活習慣をより良いものにしていきたい。